

近畿学校保健学会通信

No.101

平成14年1月15日発行
近畿学校保健学会事務所
〒673-1494 兵庫県加東郡社町下久米942-1
兵庫教育大学疫学健康教育学研究室内
TEL&FAX (0795) 44-2180
振替口座 01140-8-89516

目 次

第49回近畿学校保健学会開催のご案内	2
第49回近畿学校保健学会（平成14年度年次学会）開催要項	3
講演会とシンポジウムのご案内	4
I. 講演会について	4
II. シンポジウム・ワークショップについて	4
故 高島雅行先生の御逝去を悼む	5
故 山本勝朗先生の御逝去を悼む	5
平成13年度第3回幹事会議事録	6
第49回近畿学校保健学会演題申し込み用紙	

第49回近畿学校保健学会開催のご案内

第49回近畿学校保健学会

学会長 堀内 康生

大阪教育大学・養護教育講座教授

このたび大阪教育大学養護教育講座が第49回近畿学校保健学会の開催をお世話させていただくことになりました。不慣れなことで、至らぬ点が多々あるかと思いますが、会員の皆様方の暖かいご支援とご協力を賜り、有意義な大会にすべく努力したいと思います。

今年度の第49回近畿学校保健学会は平成14年5月18・19日（土・日）の2日間、大阪市天王寺区にあるクレオ大阪中央を会場として開催させていただきます。会場は地下鉄谷町線の四天王寺前駅から徒歩3分の場所にあり、平成13年11月に完成したばかりの立派な会場です。次の駅が天王寺駅です。天王寺駅からは1分で連絡可能です。地理的にも、交通にも利便性が高い所と思います。

本年度の学会では児童生徒の心身の健康問題の多様化、複雑化の傾向が認められることや、学校保健に携わる養護教諭をはじめとした学校保健関係者に対する社会のニーズと期待が高まっていること、さらに、学校保健活動が、地域における実践の質と関係者の連携の必要性が課題となっていること、等に配慮したシンポジウムと講演会を企画しました。本学会の主旨は参加者が討論に参加し、得られた知識と技術を学校現場にフィードバックし、保健指導に実践できることです。そこで本学会において、毎年増加を続けている、「ぜん息とアトピー性皮膚炎」の子どものQOLを確保する指導の進め方についての講演を、この方面の第一戦で活躍されている西牟田（国療下志津病院院長）・青木（元府立羽曳野病院副院長）両先生にお願いしました。お二人の専門家から実践に役立つ指導方法をお話いただく予定です。シンポジウム1では栄養指導を取りあげました。「健康を守る食生活」について、永年に渡って肥満児指導を続け、豊富な経験を持つ中野先生（桃陽病院小児科部長）を始め、学校現場で指導に取り組んだ経験を持つ養護教諭からの報告など、肥満児童の指導は学校と家庭、学校と地域の連携の基に健康を創造する生活活動を推進させる智慧と工夫を、できるだけ広い立場の方々からお話いただく予定です。シンポジウム2では近年関心の高い、「学校に適應できない子どもへの対応」を取りあげました。子育て支援のボランティア団体にも所属し、幅広い実践活動を通じ、ご活躍中の原田正文先生（大阪人間科学大学教授）、大阪市立大学小児科で心身症外来を担当されている地寄・上本先生に学校と医療の立場から子どもへの対応について実践に役立つお話しをお願いしています。また、学校現場から学校長と養護教諭をコメンテータに予定しています。これらの講演会やシンポジウムに参加された方はご自身の学校や職場で困惑している問題を解決する糸口が必ず見つかるものと確信しています。ワークショップでは、生きる力を育てる保健指導を取り上げました。日頃行っている種々の取り組みについて応募していただくをお願いします。

一般口演では、従来の演題区分に加えて、総合学習の演題を募集します。新学習指導要領に加えられ、各学校で種々の取り組みを行っていることが考えられます。学校現場の種々の問題について気軽に申し込みを行って下さい。その上で、活発な議論が持たれ、子ども達の健康が前進することを期待しています。

私たちは、本大会に参加された方々が、関心のあるテーマについて意見交換を行い、児童生徒の心と身体の健康問題に対する専門知識と技術、アセスメント能力等について相互の研究・実践交流の深められることを期待しています。各方面の多数の方々の参加をお願い致します。

第49回近畿学校保健学会（平成14年度年次学会）開催要項

1. 学会長 大阪教育大学教授 堀内康生
2. 事務局 〒582-8582 柏原市旭ヶ丘4-698-1 大阪教育大学養護教諭養成課程
第49回近畿学校保健学会事務局
事務局長 木村龍雄（大阪教育大学教授） Tel.&Fax 0729-78-3432
事務局補佐 上本末夏（大阪教育大学助手） Tel.&Fax 0729-78-3436
E-mail emoko@cc.osaka-kyoiku.ac.jp
振替口座 00930-1-14683(郵便振替) 第49回近畿学校保健学会
3. 開催日 平成14年5月18日（土）、19日（日）
4. 会場 大阪市立男女共同参画センター中央館 クレオ大阪中央
〒543-0002 大阪市天王寺区上汐5-6-25 Tel.06-6700-7200 Fax.06-6770-7705
5. 日程
5月18日（土） 受付12:30～14:00
午後：講演会 「アレルギー疾患の子供のQOLを確保する指導」
気管支喘息 西牟田敏之先生（国立療養所下志津病院院長）
アトピー性皮膚炎 青木敏之先生（元羽曳野病院副院長）
懇親会
5月19日（日） 受付9:30～
午前：会長講演
「幼稚園・学校における気管支喘息の子どもの保健指導・健康相談
―実践のためのネットワークの利用と効果―」
昼休：評議委員会（昼休み）
午後：総会
シンポジウム1 「健康を守る食生活」
シンポジウム2 「学校に適應できない子どもへの対応を考える
―学校・医療・家庭の連携と具体的取り組み―」
ワークショップ―要望課題― 「生きる力を育てる保健指導」
一般演題発表
6. 参加費（含資料費） 正会員 3000円 当日会員 2000円 当日学生会員 1000円
7. 参加申込
学会員の有無に関係なく、また近畿内外を問わず、当日参加を歓迎します。返信用封筒（宛名及び80円切手貼）を上記事務局宛に送付いただければ、5月初旬までにプログラム等を送付致します。
なお、一般演題発表者は共同研究者を含めて正会員になる必要があります。会員でない方は、「近畿学校保健学会事務局」に入会手続きをして下さい。
※近畿学校保健学会事務局
〒673-1494 兵庫県加東郡社町下久米942-1 兵庫教育大学疫学健康教育学研究室内
TEL&FAX 0795-44-2180,2178 振替口座 01140-8-89516
8. 一般演題申込
発表希望者は、演題申込用紙に必要事項を記入の上、平成14年2月28日までに第49回近畿学校保健学会事務局宛に申し込んで下さい。折り返し講演集用オフセット印刷原稿用紙をお送りします。
また今年度は、従来の演題区分に加えて「総合学習」を新たに募集します。なお、原稿の締切は平成14年3月31日です。
9. 懇親会 5月18日（土）18時より KKR ホテル大阪にて懇親会を開催します。是非お気軽にご参加下さい。当日受付でのお申し込みも歓迎します。会費は4,000円です。

講演会とシンポジウムのご案内

I. 講演会について

【テーマ】アレルギーの子供のQOLを確保する指導

－気管支喘息・アトピー性皮膚炎－

【趣 旨】文部科学省から毎年発表される学校保健統計の結果については、最近数年間に限っても、発症者数が増加を続けていることが確認できます。現場にいる先生方も、この実態は実感されていることでしょう。アレルギー疾患は遺伝的要因も関係しますが、環境からの影響が非常に大きく関係することが報告されています。一方、大多数の子供はアレルゲンテストによってアレルゲンが見つかります。病院で受ける薬物治療と同時に、アレルゲンの除去や運動の後で起こる発作を避ける処置や皮膚を清潔にすること、スキンケアの実践等家庭と学校で行うことがたくさんあります。お二人の先生方には症状の安定を保つために、してはいけないこと、忘れずにするべきこと等について具体的なお話をさせていただきます。困っている問題があれば質問をお受けする予定です。

II. シンポジウム・ワークショップについて

【テーマ】健康を守る食生活

【趣 旨】テレビのコマーシャルや雑誌の広告等で食品に関する記事に毎日出会います。食えることは本能行動ですが、健康を守るための食生活は学習が必要です。業者の言うままに、無自覚な食生活を続けると肥満や糖尿病などの困った状態が起こります。各地域に都市化の波は拡大を続け、運動のための広場が消え、自動車の普及は歩く機会を少なくしています。給食は教育現場にいる子供に食の意義を考えさせる教材ですが、活用できている学校は少ないようです。正しい食生活の具体的方法について、医療や現場の先生方から家庭と学校で実践に役立つ智慧と工夫をお話していただきます。

【テーマ】学校に適応できない子どもへの対応を考える

－学校・医療・家庭の連携と具体的取り組み－

【趣 旨】学校に適応できない子どもといってもその背景は千差万別であり、どの学校でも対応に苦慮されていることと思います。今回は医師・養護教諭・校長など、様々な立場のシンポジストやコメンテーターを御招きし、それぞれの立場から具体的な実践例を交えてお話していただくとともに、全体討論の時間を設け、学校での体制づくり、校医・スクールカウンセラー・医療機関を含む専門機関との連携、そしてその中で養護教諭の果たす役割など、「連携」という視点から子どもたちへの支援のあり方を考えていただきます。

【テーマ】生きる力を育てる保健指導（要望課題）

【趣 旨】私たちは高度産業社会に生活しています。交通・通信・流通等の社会構造の変化は日進月歩の状態です。この状況の中で、一番大きな影響を受けるのは子供を取りまく環境です。確たる方向を決めることが困難な時代状況にあって、生きることの喜び・助け合うことの楽しさ・悩むことの大切さ等先生方の取り組みについてお話いただきます。活発な討論を期待しています。

故 高島雅行先生の御逝去を悼む

2001年12月15日

八 木 保

本学会名誉会員高島雅行先生が平成13年5月22日、京都大学附属病院において逝去されました。享年96才。

先生は明治38年5月15日鳥取県米子市にお生まれになり、昭和4年3月京都大学医学部を卒業、同時に真下内科学教室に入局して研鑽をつまれ、昭和12年6月より京都市上京区において内科医院を開業され今日に至りました。学校保健に関した先生の略歴の要点を列挙すれば次のごとくです。

京都市で初めての学校保健会を作り会長・視覚教育委員会委員長（s.22～27）、京都市立春日小学校校医（s.24～h.7）、京都府立鴨沂高校校医（s.26～h.10）、同校生徒の検尿実施（s.32）、京都市児童生徒の検尿成績を発表（s.36.6）、京都市学校保健会会長（s.44.6～s.50）、京都市腎疾患実態調査委員会（s.46～51）、日本学校医会副会長（s.47～h.5）、京都市学校医会会長（s.49.4～h.4）、京都腎臓病総合対策推進協議会設立・会長（s.52～h.13）等を歴任され、学童検尿による腎炎の発症予防から、早期発見、早期治療への一連の道をひらかれました。近畿学校保健学会での発表も多く、近著として、「検尿遍歴40年」（1995）、「一校医の体験した学校保健小史」（1999）があります。

これらのご活躍に対して文部大臣・厚生大臣より表彰状・感謝状、京都府市教育委員会より教育功労賞、日本医師会より学術最高優功賞等を受けられ、昭和58年には叙勲されています。ここに謹んで先生のご冥福をお祈りします。

故 山本勝朗先生のご逝去を悼む

竹 中 恒 夫

近畿学校保健学会に永年にわたり御貢献賜った本会名誉会員 山本勝朗先生が 先日御逝去されました。謹んで弔意をささげます。

山本先生は 大阪市立大学教授を停年退官されてから 本年3月まで堺市立百舌鳥養護学校校医として知的障害児の為に 永く御指導を賜りました。

先生は長い将来の展望をもって、学校の職員に同校の児童生徒についてくわしく記録にとどめる事を指示されました。

さまざまな障害を持つ子供が発育するにつれて 将来どう変わってゆくか、常に希望を持って見守って行く事の大切さを御指導いただいたと考えます。又一方子供さん達のかくされた可能性を信じて行く様に親御さん達にもやさしくはげましておられました。

時には学校や市の職員にはきびしく指示される事もあった先生ですが、子供達やその保護者には、やさしく笑顔で接されるのが常でした。

百舌鳥養護学校の校医をされる一方、A養護学校（病虚弱児のためにあった）の廃校に伴い 市内の一部の小、中学校に新設された養護学校への巡回指導も始められました。

月に1回、時には数回各学級を巡回されて 各学校の養護学校の教諭に指導をいただく様子は

百舌鳥養護学校に於けると全く変りはありませんでした。

又昭和53年からは心身障害児就学指導委員会の委員長として 毎月出務されて、病虚弱児や知的障害児の対応について 御指導をいただいたときいております。

非常勤公務員として、報くわれる事の少なく、労多い仕事を高令の先生が つづけられたのは、ただ子供達への愛情に支えられたものだったと思います。

本当に長い間 有難うございました。

平成13年度第3回幹事会議事録

日時：平成13年 12月 15日（土） 午後 2時～4時

場所：大阪教育大学 天王寺学舎

出席者：上延，大矢，勝野，北村（陽），武田，寺田，白石，林，堀内，三野，

宮下，八木，山本（公）（敬称略，50音順）

委任状提出者 12名

審議事項

1. 第49回近畿学校保健学会（大阪）の企画について

堀内康生学会長（大阪教育大学教授）第49回近畿学校保健学会（大阪）の企画案が示され，質疑の後，原案が承認された．なお，第49回の年次学会は平成14年5月18,19日に開催予定であり，例年より開催が早いため，学会通信による開催要項の公表，演題申込締切，口演要旨締切を早めることとされた．

2. 次期学会（第50回）の開催地および会長について

次期第50回近畿学校保健学会を奈良県で開催することが承認された．なお，年次学会長は奈良県で検討いただき，次回の幹事会で審議することとされた．

3. 近畿学校保健学会50周年記念事業について

近畿学校保健学会50周年記念事業についての企画委員会での審議経過が勝野企画委員長より報告され，今後さらに検討を続けることとされた．

第49回近畿学校保健学会演題申し込み用紙
(1題1葉に記入して下さい。下記の注意を守って下さい。)

演題名			
発表者氏名 所属 (連名の時は演者の前に○印、新入会員には*印)			
連絡先	〒	住所	
氏名			
電話番号		FAX番号	
電子メールアドレス			
発表要旨 (100字程度)			
キーワード ()			
注 意			
1. 申し込み締め切り：平成14年2月28日 (期限厳守) 2. 申し込み先： (1) FAXによる方法/ 番号 0729-78-3436 (事務局 上本宛) (2) Eメールによる方法/ emoko@cc.osaka-kyoiku.ac.jp (事務局 上本宛) ※まずはメールにてご連絡下さい。用紙を添付ファイルで送付いたします。 (3) 郵送による方法/ 〒582-8582 大阪府柏原市旭ヶ丘4-698-1 大阪教育大学 養護教諭養成課程 第49回近畿学校保健学会事務局 3. 申込者には事務局から講演集用の原稿作成要項をお送りします。 4. 申込用紙の不足の時はコピーして使用して下さい。 5. 記載事項の訂正はできませんのでご了承下さい。 6. 講演内容は学校保健の立場に立脚し、具体的な資料に基づいた研究発表を希望します。 7. 今年度の講演内容は、従来の演題区分に加えて「総合学習」を新たに募集します。 8. その他については開催事項をご覧下さい。			
事務局使用欄	受付番号	返送日	月 日
演題番号			
発表日時	月 日	から	まで